

||お知らせ||

インターネットによるコンタクトレンズ眼障害 アンケート調査の集計結果報告 (平成 21 年度)

日本コンタクトレンズ協議会*

はじめに

コンタクトレンズ (以下 CL) 装用者の増加に伴って、CL による眼障害の数も増えている。日本眼科医会がこれまでに実施したアンケート調査¹⁻⁹⁾の結果から、CL 使用者の 5~10% に眼障害が発生していると推察しているが、これはあくまで本会の会員の医療機関を受診した患者だけを対象として得られたデータであったため、会員以外の医師の診療所を受診した場合や、トラブルが生じて医療機関を受診しなかった場合などの実態については明らかになっていない。そこで、日本眼科医会、日本コンタクトレンズ学会、日本コンタクトレンズ協会の 3 団体からなる日本コンタクトレンズ協議会は、ホームページ上で一般の方を対象に CL 眼障害の調査を行っている¹⁰⁻¹³⁾。この 1 年間の回答を集計したので報告する。

方 法

日本眼科医会のホームページを通じて、CL の装用が原因と考えられる眼障害を経験したことのある人を対象として調査を行った。なお、本調査には日本コンタクトレンズ学会ならびに日本コンタクトレンズ協会のホームページからリンクできるようにした。

調査期間は平成 21 年 7 月 5 日から平成 22 年 7 月 4 日であった。

調査項目は、性別、年齢 (年代別)、CL の休止期間、トラブルのあった目 (右、左、両のいずれか)、自覚症状、診断名、CL の種類、CL の購入先、CL の処方施設、CL の装用状況、装用日数、装用時間、取扱説明書の受

け取り、定期検査、CL の洗浄、ソフトコンタクトレンズ (以下 SCL) の消毒、SCL の消毒剤、使い捨て SCL・頻回交換 SCL の装用方法の遵守、使い捨て SCL・頻回交換 SCL の装用日数であった。

結 果

97 件の回答があった。各設問の集計結果をパーセントで記す。

1) 性 別

男性が 22.7%、女性が 77.3%であった (図 1)。

2) 年 齢

年代別では、10 歳代が 11.3%、20 歳代が 39.2%、30 歳代が 29.9%、40 歳代が 11.3%、50 歳代が 7.2%、60 歳以上が 0%、無回答が 1.0%であった (図 2)。

3) 休止期間

休止せずが 14.4%、3 日以内が 55.7%、4 日以上が 29.9%であった (図 3)。

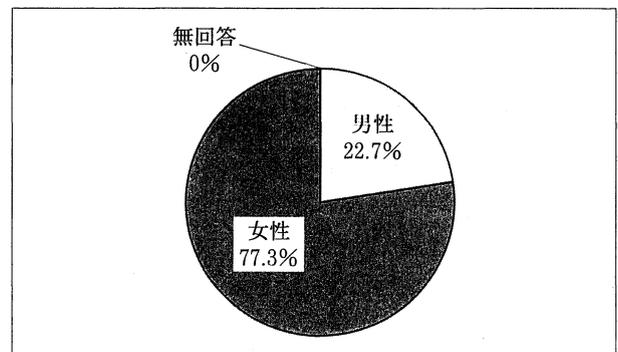


図 1 性別

*日本コンタクトレンズ協議会

日本コンタクトレンズ学会

植田 喜一・糸井 素純・大橋 裕一・木下 茂

(社)日本眼科医会

高橋 和博・宇津見義一・山田 昌和・福下 公子・白井正一郎・高野 繁

(社)日本コンタクトレンズ協会

大瀧 守彦・大橋 敏夫・溝口 隆久・早川 豪一・柘植 益郎・田中 英成

4) **トラブルのあった目**

右目が32.0%, 左目が15.5%, 両目が52.6%であった(図4)。

5) **自覚症状** (複数回答可)

右目ならびに左目に生じたトラブルの自覚症状を図5, 6に示す。充血(右目が25.5%, 左目が22.7%, 以下同様), 目の痛み(21.3%, 19.3%)を訴えるものが多く, 視力低下(4.6%, 4.5%), かすみ(8.3%, 8.0%), めやに(13.4%, 13.1%), 乾燥感(11.1%, 14.8%), かゆみ(9.3%, 10.2%), その他(6.5%, 7.4%)であった。

6) **診断名** (複数回答可)

右目ならびに左目の診断名を図7, 8に示す。点状表

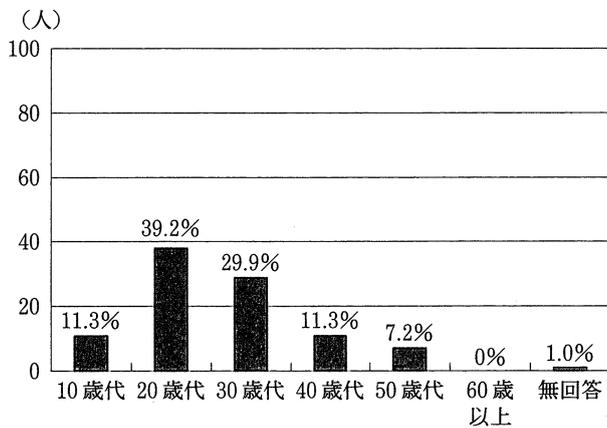


図2 年齢 (年代別)

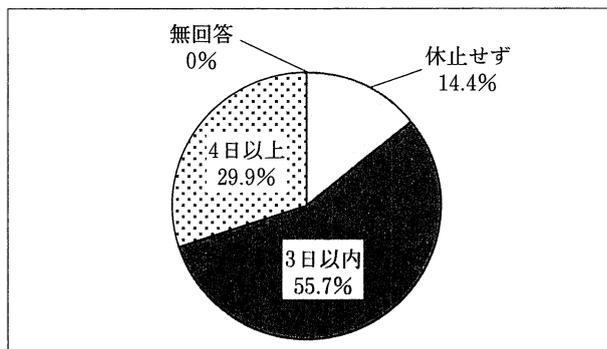


図3 休止期間

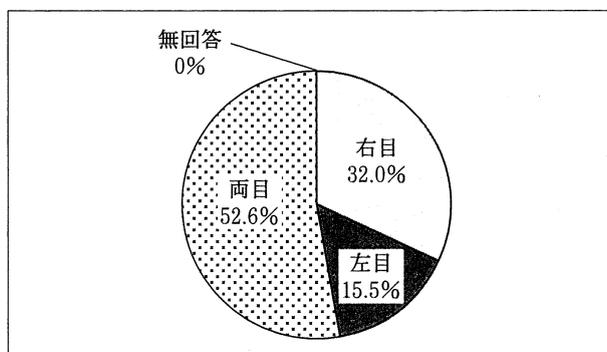


図4 トラブルのあった目

層角膜症 (13.0%, 11.1%), 角膜上皮びらん (角膜上皮剥離を含む) (26.1%, 22.2%), 角膜浸潤 (4.3%, 0%), 角膜潰瘍 (10.9%, 11.1%), 角膜浮腫 (2.2%, 2.8%), 角膜血管新生 (2.2%, 0%), 結膜充血 (19.6%, 25.0%), 角膜内皮障害 (4.3%, 2.8%) で, その他 (17.4%, 25.0%) であった。

7) **CLの種類**

ガス透過性レンズを含むハードコンタクトレンズ (以下HCL) が19.6%, 従来型SCLが13.4%, 1日使い捨てSCLが10.3%, 1週間連続装用使い捨てSCLが2.1%, 2週間頻回交換SCLが43.3%, 1~6ヶ月定期交換SCLが6.2%, カラーSCLが1.0%, 度数のないカラーSCLが4.1%であった(図9)。

8) **CLの購入先**

CL診療を主とする診療所に併設する販売店 (量販店を含む) が42.3%, 一般病院内または併設する販売店が3.1%, 眼科医療機関に併設する販売店が27.8%, 眼鏡店が10.3%, 通信販売が2.1%, インターネットが7.2%, 薬局が1.0%, その他が6.2%であった(図10)。

9) **CLの処方施設**

大学病院が1.0%, 一般病院 (大学病院を除く) が4.1

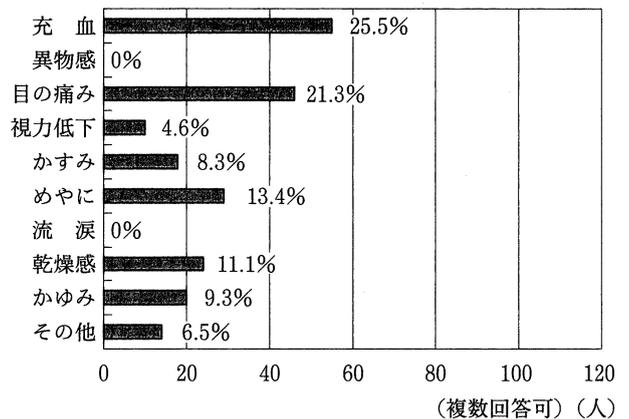


図5 自覚症状 (右目)

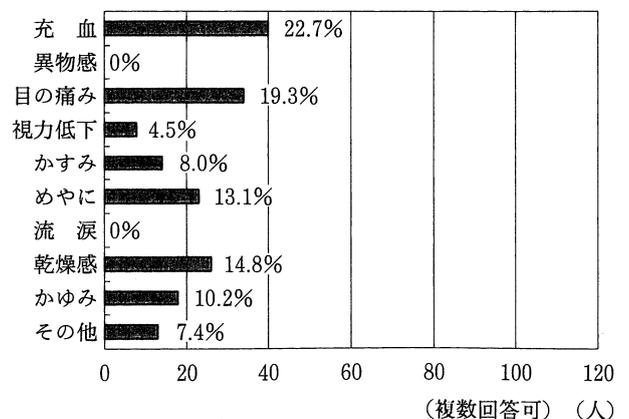


図6 自覚症状 (左目)

%, 一般眼科診療所が33.0%, CL診療を主とする診療所が44.3%, 眼鏡店に併設する眼科診療所が4.1%, 医師の処方を受けなかったが11.3%, その他が2.1%であった(図11)。

10) 装用状況

連続装用が8.2%, 終日装用が91.8%であった(図12)。

11) 装用日数

毎日が67.0%, 週6日が9.3%, 週5日が10.3%, 週3~4日が4.1%, 週1~2日が2.1%, 不規則が5.2%, その他が2.1%であった(図13)。

12) 装用時間

1日16時間以上が20.6%, 8~16時間未満が66.0%, 4~8時間未満が7.2%, 4時間未満が2.1%, 不規則が1.0%, その他が3.1%であった(図14)。

13) 取扱説明書の受け取り

受け取ったが86.6%, 受け取らなかったが13.4%であった(図15)。

14) 定期検査

1ヶ月に1回が1.0%, 3ヶ月に1回が15.5%, 6ヶ月に1回が18.6%, 年に1回が11.3%, 不定期に受けていたが20.6%, 全く受けていなかったが29.9%, その他が3.1%であった(図16)。

15) CLの洗浄

毎日洗浄していたが71.1%, 週に2~3回洗浄してい

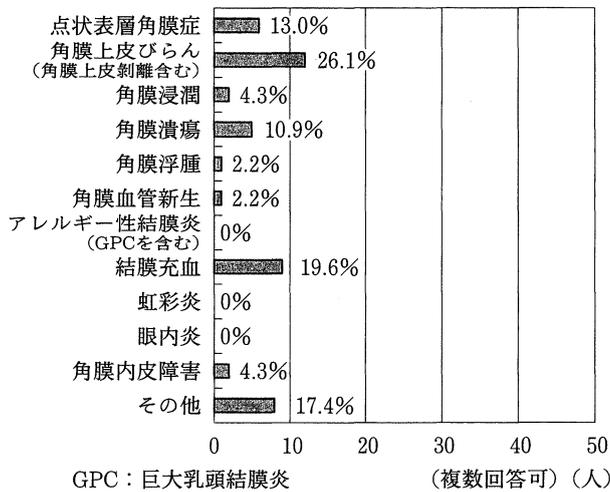


図7 診断名 (右目)

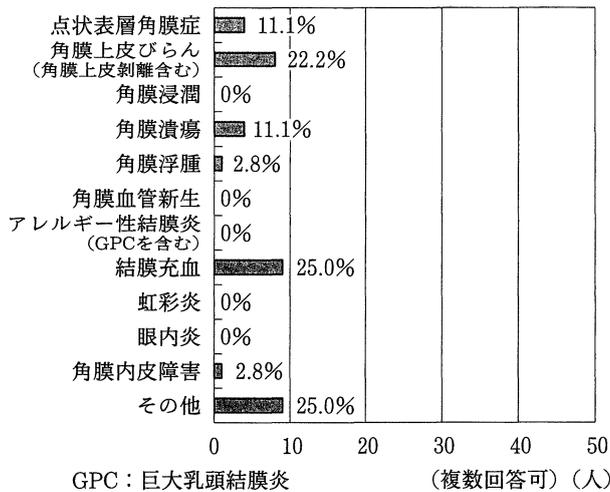


図8 診断名 (左目)

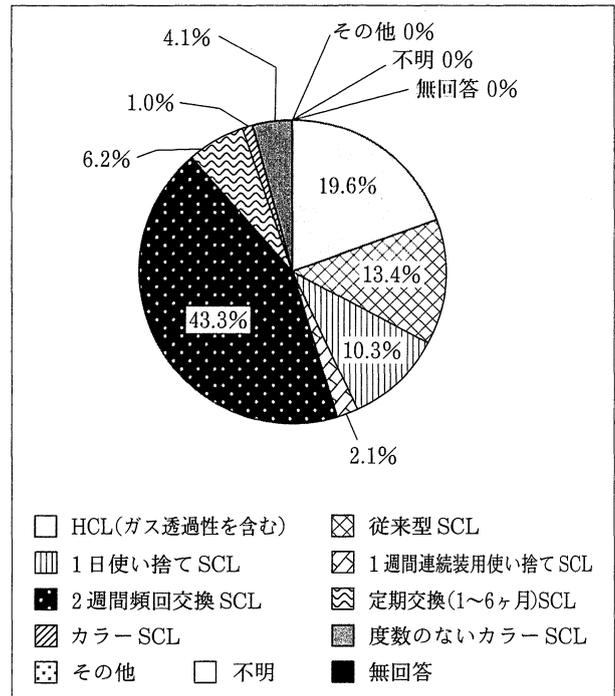


図9 CLの種類

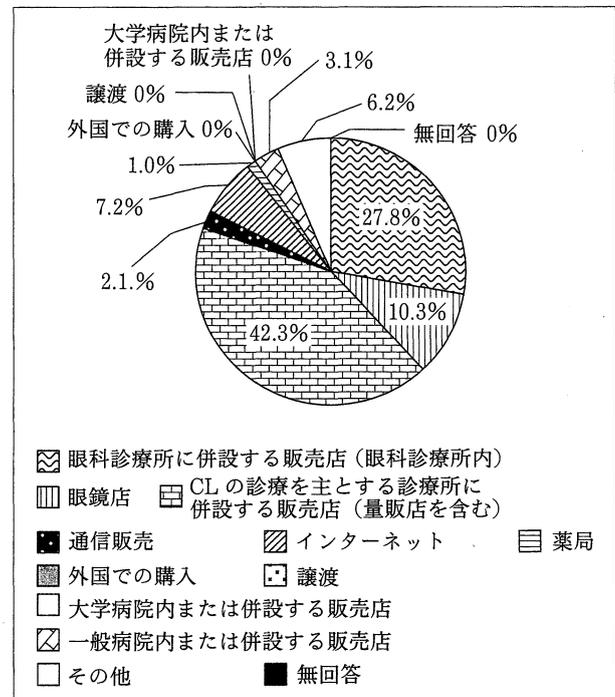


図10 購入先

たが5.2%，週に1回洗浄していたが2.1%，ほとんど洗浄していなかったが4.1%，全く洗浄していなかったが10.3%，その他が7.2%であった(図17)。

16) SCLの消毒

毎日消毒していたが42.3%，週に1回消毒していたが1.0%，週に2~3回消毒していたが4.1%，時々消毒し

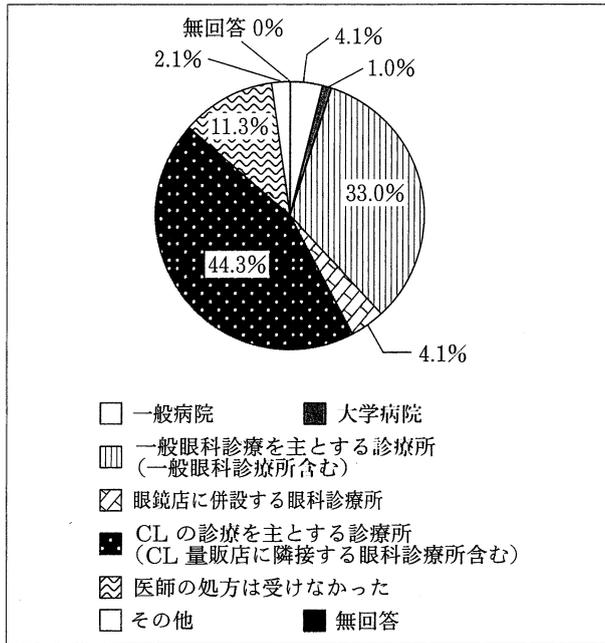


図11 処方施設

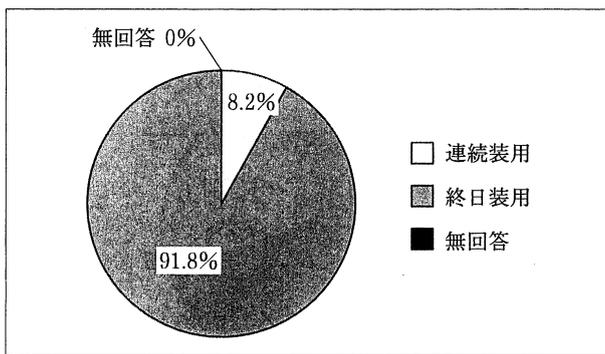


図12 装用状況

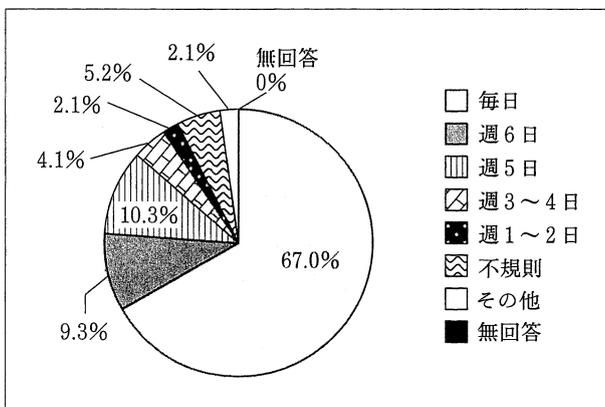


図13 装用日数

ていたが3.1%，ほとんど消毒していなかったが3.1%，消毒はしていなかったが5.2%，その他が4.1%，無回答が37.1%であった(図18)。

17) SCLの消毒剤

マルチパーパスソリューション(MPS)が22.5%，過酸化水素消毒剤が5.6%，不明が71.8%であった(図19)。

18) 装用方法の遵守 (1日および1週間連続装用)

使い捨てSCL・2週間頻回交換SCLについて) 守っていたが46.3%，ほぼ守っていたが20.4%，時々守っていたが5.6%，守っていなかったが11.1%，無回

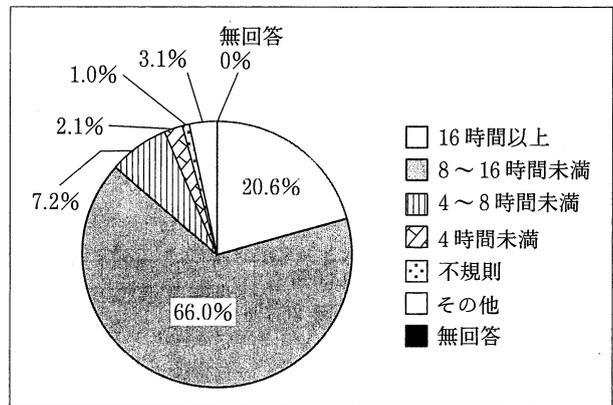


図14 装用時間

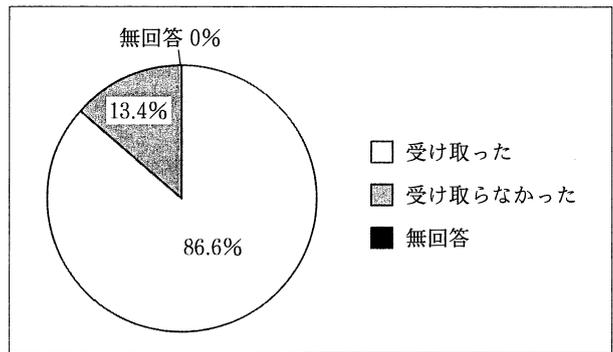


図15 取扱説明書

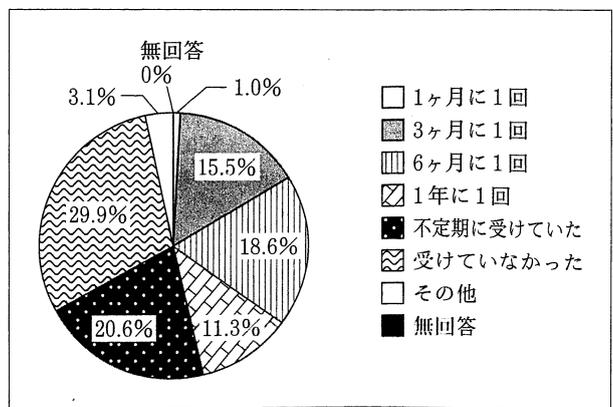


図16 定期検査

答が16.7%であった(図20)。

19) 装用日数(1日および1週間連続装用使い捨て SCL・2週間頻回交換 SCL について)

1~7日が38.9%, 8~14日が22.2%, 15~30日が9.3%, 31日以上が3.7%, 無回答が25.9%であった(図21)。

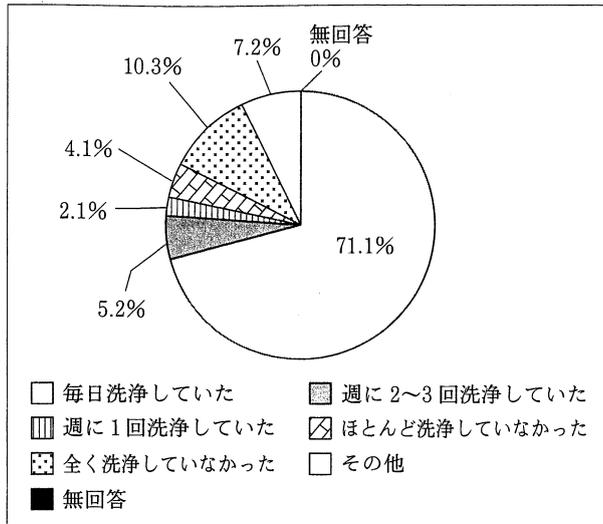


図17 洗浄

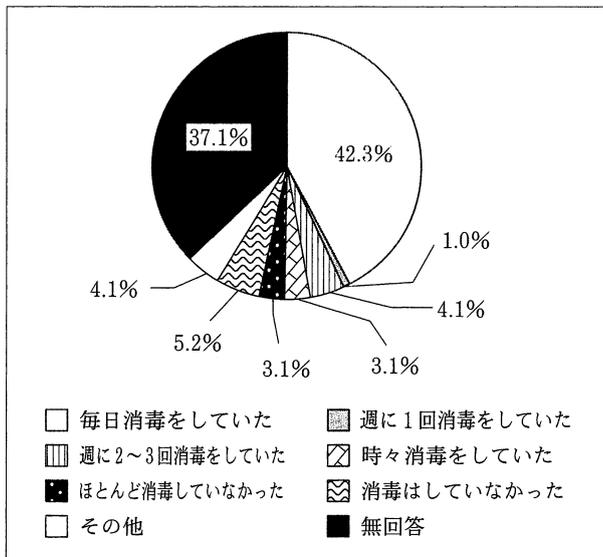


図18 SCLの消毒

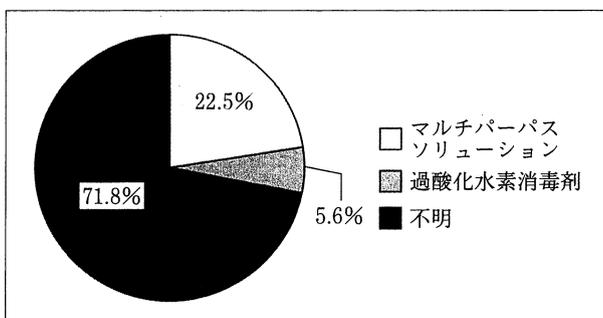


図19 SCLの消毒剤

考 察

これまでの本調査の報告件数を表1に示すが、アンケートに協力いただいた方は、日本眼科医会、日本コンタクトレンズ学会、日本コンタクトレンズ協会のホームページを自ら見たということで、CLへの関心が強いといえる。

CLは両眼に装用する機会が多いので、トラブルを生じるのも両眼であることが多い¹⁰⁻¹³⁾。本調査の結果でも両眼のトラブルが52.6%と半数以上であった。自覚症状としては、充血、目の痛み、乾燥感、かゆみなどが多く、診断名としても結膜充血、角膜上皮びらん(角膜上皮剥

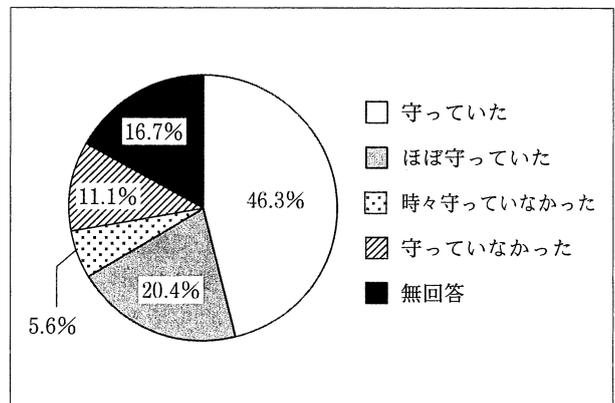


図20 装用方法の遵守

(1日および1週間連続使い捨て SCL, 2週間頻回交換 SCL)

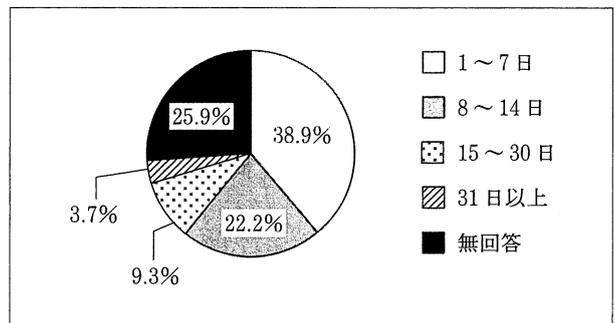


図21 装用日数

(1日および1週間連続使い捨て SCL, 2週間頻回交換 SCL)

表1 眼障害アンケート調査の報告件数

調査期間	報告件数
平成14年1月~平成18年5月31日	330件
平成18年6月20日~平成19年7月4日	203件
平成19年7月5日~平成20年7月4日	137件
平成20年7月5日~平成21年7月4日	141件

離を含む)、点状表層角膜炎が多かった。CLの合併症としてもっとも重篤と考えられる角膜潰瘍も10%以上(右眼10.9%,左眼11.1%)に認められたが、これまでの日本眼科医会の調査結果と同等の割合であった¹⁴⁾。

日本眼科医会が平成20年に9,904名のCL使用者に行ったアンケート調査結果¹⁴⁾によると、これまでにCLの使用を一時中止しなければならないようなトラブルを経験した者は49.9%(1回が19.5%,2~5回が25.9%,6回以上が4.5%)で、これらのトラブルのうち、もっともひどいトラブルが良くなるまでに要した日数は4~7日が33.6%ともっとも多く、2~3日が28.9%,1週間~1ヶ月が25.2%,1ヶ月以上が5.2%,1日が4.3%,治っていないが0.5%であった。多くのCL使用者がトラブルを経験しており、それも比較的ひどいトラブルであることが明らかになった。CL使用者が考えるトラブルの原因は、長時間装用したが24.8%,レンズケアが不適切であったが17.0%,CLを入れたまま寝た(連続装用)が13.5%,CLをすぐにはずさなかったが9.2%,使用期限があるCLを日数を超えて使用したが6.8%,眼科医に指示された定期検査を受けなかったが2.4%,添付文書をよく読まなかったが0.3%であった。

この調査結果と今回の調査結果を比較すると、CLの休止期間が4日以上は今回の調査が29.9%と少なかった。CLの装用状況は連続装用が8.2%で、1日の装用時間は16時間以上が20.6%と、長時間装用している者が多かった。1日および1週間連続使い捨てSCLや2週間頻回交換SCLの装用方法を守っていたのは46.3%であったことから、CLの使用法に問題のあることや、毎日洗浄していたが71.1%,毎日消毒していたが42.3%であった結果からレンズケアについても問題があることがわかる。

CLの処方を受けていない者は11.3%で、インターネットや通信販売で購入している者は9.3%であった。CLの購入にあたっては必ず眼科専門医の診察を受けて、信頼のおける販売店で入手するように指導することが大切である。

これまでの調査から、2週間頻回交換SCLを装用している者でMPSを使用している場合の眼障害例が多いことが指摘されている¹⁵⁾が、本調査でも2週間頻回交換SCLが43.3%ともっとも多く、SCL消毒についても過酸化水素消毒剤が5.6%に対して、MPSは22.5%と多かった。使用している消毒剤が不明が71.8%であることは問題で、レンズケアに関心がないことを裏づける結果である。

定期検査についても1ヶ月あるいは3ヶ月に1回定期検査を受けているものは16.5%に対して、全く受けてい

ないものが29.9%であることから、定期検査を受けていないことも問題であったことがわかる。

日本眼科医会が行った他の調査結果¹⁶⁾からも、CL使用者のCLの使い方やレンズケア、定期検査などに問題があることが指摘されているが、あらためて本調査でもこれらの問題が浮き彫りになった。

[文 献]

- 1) 日本眼科医会医療対策部：コンタクトレンズによる眼障害アンケート調査の集計結果報告. 日本の眼科 70: 439-442, 1999.
- 2) 日本眼科医会医療対策部：コンタクトレンズによる眼障害アンケート調査の集計結果報告(第2報). 日本の眼科 71: 1481-1484, 2000.
- 3) 日本眼科医会医療対策部：コンタクトレンズによる眼障害アンケート調査の集計結果報告(平成12年度). 日本の眼科 72: 1341-1344, 2001.
- 4) 日本眼科医会医療対策部：コンタクトレンズによる眼障害アンケート調査の集計結果報告(平成13年度). 日本の眼科 73: 1381-1384, 2002.
- 5) 日本眼科医会医療対策部：コンタクトレンズによる眼障害アンケート調査の集計結果報告(平成14年度). 日本の眼科 75: 219-222, 2004.
- 6) 日本眼科医会医療対策部：コンタクトレンズによる眼障害アンケート調査の集計結果報告(平成18年度). 日本の眼科 78: 1223-1229, 2007.
- 7) 日本眼科医会医療対策部：コンタクトレンズによる眼障害アンケート調査の集計結果報告(平成19年度). 日本の眼科 79: 1165-1170, 2008.
- 8) 日本眼科医会医療対策部：コンタクトレンズによる眼障害アンケート調査の集計結果報告(平成20年度). 日本の眼科 80: 940-946, 2009.
- 9) 日本眼科医会医療対策部：コンタクトレンズによる眼障害アンケート調査の集計結果報告(平成21年度). 日本の眼科 81: 408-412, 2010.
- 10) 糸井素純, 植田喜一, 岡野憲二, 宇津見義一, 吉田博: インターネットによるコンタクトレンズ眼障害アンケート調査. 日コレ誌 50: 111-121, 2008.
- 11) 日本コンタクトレンズ協議会: コンタクトレンズ眼障害アンケート調査の集計結果報告. 日本の眼科 78: 1378-1387, 2007.
- 12) 日本コンタクトレンズ協議会: インターネットによるコンタクトレンズ眼障害アンケート調査の集計結果報告. 日本の眼科 79: 1293-1299, 2008.
- 13) 日本コンタクトレンズ協議会: インターネットによるコンタクトレンズ眼障害アンケート調査の集計結果報告(平成20年度). 日本の眼科 80: 101-107, 2009.
- 14) 日本眼科医会医療対策部: インターネットを利用したコンタクトレンズ使用者の実態調査. 日本の眼科 80: 947-953, 2009.
- 15) 福田昌彦: コンタクトレンズ関連角膜感染症の実態と疫学. 日本の眼科 80: 693-698, 2009.
- 16) 日本コンタクトレンズ協議会: インターネットを利用したコンタクトレンズ装用者のコンプライアンスに関するアンケート調査. 日本の眼科 81: 394-407, 2010.